

ロケーションの良さも学校生活の力になります

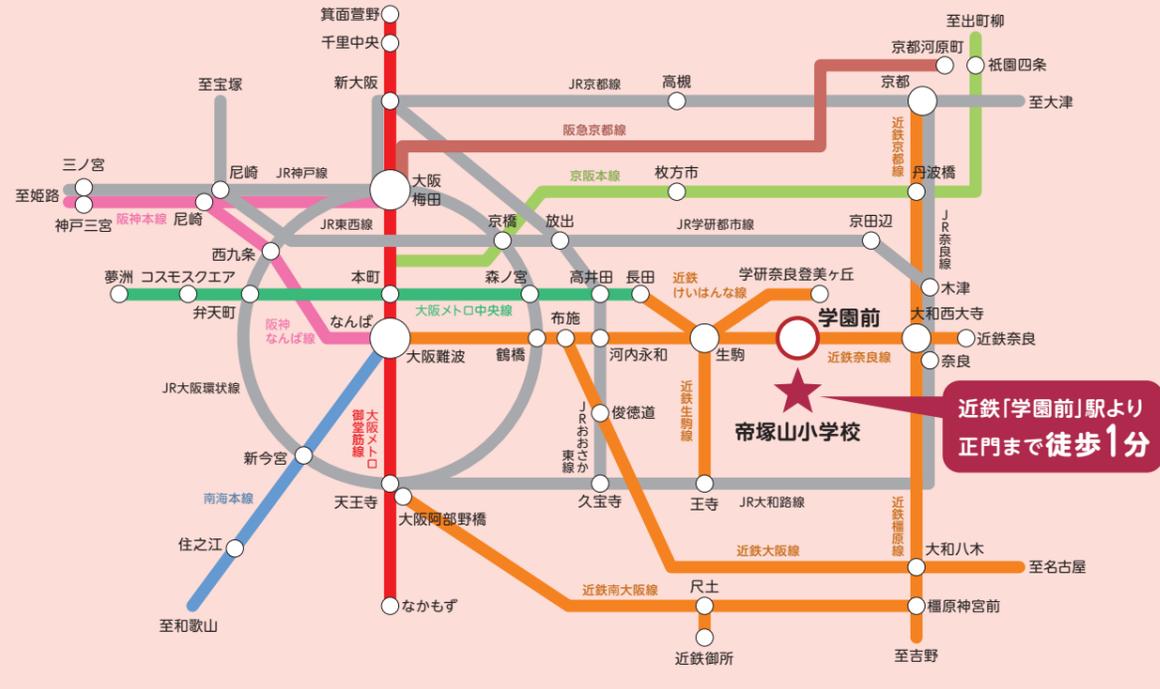
通学時間は実は大きな問題です。時間の余裕が勉強やクラブ活動への意欲をかき立て、安全面の不安も取り除いてくれます。「駅を降りたらすぐ学園」という他では考えられない恵まれたロケーションが、子どもたちの大きな力になり、保護者の方々の安心を保証します。



帝塚山小学校

TEZUKAYAMA ELEMENTARY SCHOOL

ACCESS MAP



● 各方面からの所要時間

大阪難波より	26分	近鉄奈良線[快速急行]	京都より	43分	近鉄京都線[急行] → 近鉄奈良線[快速急行]
鶴橋より	20分	近鉄奈良線[快速急行]	近鉄丹波橋より	33分	近鉄京都線[急行] → 近鉄奈良線[快速急行]
大阪より	34分	JR大阪環状線 → 近鉄奈良線[快速急行]	大和八木より	25分	近鉄橿原線[急行] → 近鉄奈良線[快速急行]
天王寺より	25分	JR大阪環状線 → 近鉄奈良線[快速急行]	近鉄奈良より	10分	近鉄奈良線[快速急行]
尼崎より	43分	阪神なんば線 → 近鉄奈良線[快速急行]	近鉄王寺より	33分	近鉄生駒線 → 近鉄奈良線[快速急行]
京橋より	28分	JR大阪環状線 → 近鉄奈良線[快速急行]	放出より	31分	JRおおさか東線 → 近鉄奈良線
コスモスクエアより	45分	大阪メトロ中央線 → 近鉄奈良線[快速急行]	なかもずより	48分	大阪メトロ御堂筋線 → 近鉄奈良線[快速急行]

 帝塚山小学校

〒631-0034 奈良市学園南3-1-3 小学校 TEL:0742-41-9624 FAX:0742-41-9634
http://www.tezukayama-e.ed.jp/



 学校法人 帝塚山学園

学校案内
2026





帝塚山は 根っこを鍛えます

本校では、確かな伝統と恵まれた環境のもと、将来豊かな果実を实らせるために、子どもたちの「根っこの部分を鍛える」教育を目指します。

この先、激動の時代を生き抜く子どもたち。

その子たちの将来を見据え、限らない可能性を伸ばし、

世界に自己を発信することができる資質を身につけることが

今こそ大切ではないでしょうか。

根っこを鍛え、大地に大きく拡げることが「生きる力」に繋がるものと考えます。

その根っこを鍛える活動が、本校の教育の根幹であり、

その中でひたむきに取り組む子どもたちの姿こそが私たちの誇りであります。



帝塚山小学校 校長
野村 至弘

帝塚山小学校の歩み



小学校校舎(昭和37年卒業記念アルバム)

- 昭和27年 帝塚山小学校開設
学校長は森磯吉学園長が兼任
- 昭和33年 教育目標を「考える子ども」とし、
以来毎年のように研究発表会を開催
- 昭和39年 鉄筋四階建校舎完成
- 昭和44年 研究機関紙「てづかやま」創刊
- 昭和48年 体育館・特別教室新築
- 昭和51年 「ねばり強い子ども」を発刊
- 昭和59年 韓国慶熙国民学校と姉妹協定の締結

- 平成 8年 新校舎(奈良市建築文化奨励賞受賞)、
体育館、温水プール完成
- 平成 9年 児童機関紙「まつぼっくり」創刊
オーストラリア姉妹校協定の締結
- 平成10年 西日本私立小学校教員研修会を開催
750名の教員が参加
- 平成14年 創立50周年
- 平成24年 創立60周年
- 令和 4年 創立70周年

CONTENTS

- 3つの柱 P3
- 「考える子ども」を育てる P5
- 心を磨き「共感力」を高める P7
- 本物に触れ「可能性」を広げる P9
- 英語・国際理解教室/ICT教育 P13
- 総合学園ならではの交流/課外活動・低学年クラブ P15
- 年間スケジュール/帝塚山っ子の1日/児童放課後預かり制度 P17
- 学校環境・施設・設備 P19
- 進路状況 P21
- 登下校の見守り/防災対策/給食・弁当選択制度/心のケア P22

「根っこ」を育てる

3つの柱

帝塚山小学校では、
子どもたちが将来豊かな果実を
実らせることができるよう、
3つの柱で「根っこ」を鍛え
「品性豊かな、考える子ども」を育てます。

「考える子ども」を
育てる



深く

小学校のこの時期に「考える」習慣を徹底的につける
ことで、主体的な学習姿勢を養い、人生の基盤となる
根っこを地中深くに伸ばします。

P5

心を磨き「共感力」を
高める

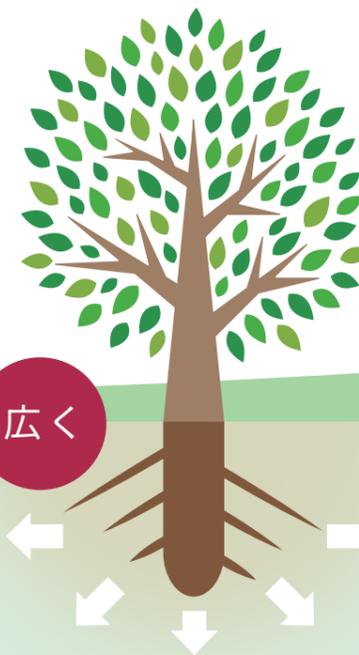


太く

心がしなやかで素直なこの時期に、相手を想う心や
豊かな感性を磨くことで、将来にわたって折れること
のない、太くて丈夫な根っこを育てます。

P7

本物にふれ「可能性」を
広げる



広く

体全体で本物にふれあう体験は、子どもたちの世界を
広げます。広範囲に興味の根っこをはることで、
好奇心を養い、将来の可能性を広げます。

P9

帝塚山の 特徴的な取り組み



安心の通学システム

「駅を降りたらすぐ学園」という他では
考えられない恵まれたロケーション
が、子どもたちの大きな力になり、保
護者の方々の安心を保証します。



おしらせ学習

身近な自然を題材にプレゼンをします。「伝える力・
聞く力・調べる力」を育むこの学習は、創立以来続け
ています。



異年齢交流

お互いを理解し、いたわり、慈しみ、感謝し、尊敬する
ことで、自己肯定感と責任感が育まれます。



卒業研究

調べ学習の集大成として取り組みます。「環境問題」
「人間と自然の共生」「科学技術」のいずれかに関連
させた個々のテーマに基づき、それぞれの研究を深
めていきます。



プログラミング教育

次世代を見据えて身につけておきたい力の一つ。年
間カリキュラム計画に組み込み、各学年に応じた学
習プログラムに取り組みます。



英語国内留学

国際教育のプロバイダーとして留学事業を展開する
ISA社と提携し、本校独自のプログラムを実現してい
ます。



内部進学推薦制度

2歳児教育から大学・大学院までを有する総合学
園。内部中学校への進学は、校長推薦による「内部
進学推薦制度」があります。



毎日のお昼寝タイム

午後の授業前に毎日実施する15分間の全校一斉お
昼寝タイムで、頭と体に休息を与え、学習効率向上
を目指します。



学年合宿

「人間と自然の共生」を学ぶことをテーマに、全学年
で系統立てた行先とプログラムを準備しています。



給食・弁当選択制度

毎日の昼食は、週5日給食、もしくは週5日弁当のど
ちらかを、各ご家庭に選択していただいています。



深く

「考える子ども」を育てる

学校生活のあらゆる場面で、主体的に取り組む姿勢を養います

これからの時代を生き抜くには、いかに主体的な学習姿勢を身につけるかがカギとなります。すべての学習において、まずは基礎となる力を継続してしっかりと定着させます。そして、それを足がかりに自信をもって自分なりの考えを表現し、発信していこうとする姿勢を育てることが、確かな思考力と判断力を養います。



読む力

読む力は、言語活動や思考力、想像力を支える重要な力。生き生きと学習する基盤です。2万冊の蔵書を誇る図書館など、豊かな読書環境も自慢です。



毎日の読書タイム

毎日15分間、6年間続ける読書タイムは、読書を習慣化させ、豊かな学力、想像力を育みます。低学年は読み聞かせから始め、高学年では個々が集中して黙読します。



専属司書による読書指導

全国の小学校の中で、専属の司書を配置している学校は69%です。本校では、専属司書が様々な取り組みで子どもたちの読書活動の活性化を図っています。



計算力

算数の基礎は計算力。各学年の学習内容に応じ、正確に速く解く訓練を重ねます。四則計算は5年生1学期までに終了、6年生は四則混合計算を重点学習します。



5分間計算モジュール

毎朝、始業前に5分間の計算を徹底して反復練習します。継続が計算力を確実に伸ばします。

帝塚山独自の課題解決学習「ひとり勉強」

課題についてまず自らの力で考え、自分なりの足場を築きます。その後、グループや学級で意見を交換し合い、さらに自分の考えを広げたり深めたりする「協働学習」に取り組みます。そして、最後にもう一度自分の考えをまとめて上げることににより、確かな思考力と表現力を鍛えます。



書く力

書くことは、自分の言葉で思考を練ること。物事を整理し、より深く考えるために必要な力です。あらゆる学習の中で、書く機会を見つけ、書き慣れさせていきます。



れんらく帳

1年生のれんらく帳は、子どもの絵から始まり、学年が上がるにつれ次第に文章のみになります。先生の赤ペンも励みとなり、子どもの表現力を開発します。この継続が質の高い文章力を育てます。



調べ学習・自学自習ノート

自らの課題について自学自習する習慣を推進するために、「帝塚山ノート」を活用しています。6年生になると、「卒業研究」として各自がテーマについて調べ、それを文章でまとめ、さらに考察を述べ、自分の考えを発信します。



英語力

「面白いからどんどん学びたい」そんな学びたくなる授業をデザインし、早い時期から語学に対する基礎力をしっかりと固めていきます。



English Challenge(年2回)でレベルアップ

子ども一人一人の英語理解度を図るため、また4技能の習得状況を把握するために、全校児童に年2回実施しています。6年間での英語力向上のみならず、国際的に活躍する人材育成を目指します。

指導システム

徹底した基礎学力充実体制

各学期末に学力診断テスト期間を設けて弱点を発見します。その後、1週間の学力補強期間で、徹底した基礎学力補強を行います。



複数教員によるきめ細かな指導

算数の授業は、1年生から6年生までの全学年において、複数教員で担当し、個々の理解に応じたきめ細やかな指導をします。これにより、学習内容の定着をより一層図ることができます。



太く

心を磨き「共感力」を高める

豊かな人間力形成のため、他者を想う心と感性を磨きます

あいさつ・整理整頓・そうじなど、あたりまえのことを繰り返し徹底することは、生活習慣の確立を図るとともに、将来に向け人間力を鍛えることに繋がります。独自の道徳教育や外部講師講演会は、子どもたちの心の眼を開かせ、充実した音楽教育や美術教育は感性豊かな心を育てます。



道徳心を養う



あいさつ

毎朝、玄関前で校長先生とあいさつを交わします。校内でも、先生や保護者の方に、気持ちの良いあいさつをしています。



外部講師講演会

卒業生や保護者の方、企業の方などを招き、講演会を実施。多面から心に響く様々な話を聴くことで、子どもたちはまた一つ成長します。この講演会は、文部科学省・経済産業省が進めている「キャリア教育」「起業家教育」として、子どもたちの『将来に対する夢』や『チャレンジ精神』、『自己肯定感』を育む「社会に開かれた教育課程」の一環として位置付けています。



学級通信

子どもたちの頑張ったエピソードや素直な作文、担任からのメッセージなどを掲載し、各ご家庭に配布・配信しています。そうすることで、保護者の方も巻き込み、学級に共感の輪を広げています。

感性を刺激する



音楽祭

毎年、秋に開催する全校行事です。各学級が合唱に取り組むほか、吹奏楽部・コーラス部・和太鼓クラブなどの演奏もあります。ホールでは、自由に自分たちの音楽を表現し、また仲間の演奏を聴きます。



美術館鑑賞会

4年生から6年生は、毎年大和文華館を訪れます。学芸員のレクチャーを通して、幅広く芸術や日本文化の心に触れることにより、豊かな感性を育てます。



和太鼓教室

高学年の有志が集まり、活動期間を半年としたチームを結成します。練習の成果は、音楽祭や幼小合同「TEZ' fes」などで披露します。



美術作品展

毎年年度末に行われる作品展。全児童の一年間分の作品、およそ1500点を一堂に展示。個性あふれる作品が並び、見る者の目と心を楽しませてくれます。



広 く

本物にふれ「可能性」を広げる

様々なことを体験することで見えてくる世界があります

科学技術がいかに進歩しても、本物にふれる体験にはおよびません。
体全体で本物とふれあう実体験は、確かなものを見極める目を育て、子どもたちの視野を大きく広げます。
全学年で実施している体験合宿では、子どもたちの知的好奇心を刺激する「学びの要素」を組み込んでいます。
また、集団生活を通して、仲間とともに助け合うことの大切さを学びます。



絆を深める 学年合宿

1年生
合宿



大自然の中で生き物にふれる

山・川・田んぼの大自然に囲まれた土地で、自然の川の冷たさを体感したり、生息する数多くの生き物にふれたりします。



こんにゃくづくりなどを体験

清流でのアマゴつかみ、地元産コンニャクイモを使ったこんにゃくづくり、季節の野菜の収穫などを体験します。

3年生
合宿



次世代の水耕栽培農法を学ぶ

水産養殖と水耕栽培を組み合わせた循環型の農法「アクアポニックス農法」を見学させていただき、持続可能な究極の循環システムについて学びます。



近畿地方の水がめ「琵琶湖」を知る

琵琶湖の周囲で育成されているヨシを観察し、その目的や利用法を教えてください。また、湧き水を生活用水として利用する「かばた」についても学びます。

2年生
合宿



忍者修行を体験

山の中に設けられた数々の修行場に赴き、一つ一つの技を磨きます。友達と声をかけ励まし合い、次々とクリアしていきます。



曽爾高原を散策

ススキで有名な曽爾高原を散策します。訪れる時期によっては、全く様子が異なるこの丘。ススキの利用法などを教えてください。

4年生
合宿



海に学ぶ 海で学ぶ

底引き網漁でとれた生き物を観察します。時にはタコの卵に遭遇するなど、普段目にするのできない生き物に出会えます。



地引網体験

何が網の中に入っているのかを期待しながら全員で力を合わせ、網を引き上げます。獲れた魚は、その場で調理していただきます。



本物にふれ「可能性」を広げる

5年生
合宿



伊勢志摩の自然を観察

干潮時のみ姿を現す伊勢志摩国立公園の無人島にある「浮島自然水族館」へ出かけ、手つかずの自然を観察します。



シーカヤックを体験

環境学習のレクチャーを受けること、協調性を養うことを目的に、シーカヤックの体験をします。

6年生
合宿



上高地でフィールドワーク

「人間と自然の共生」について考えるためのフィールドワークを体験します。日本の山岳自然の聖域として称される上高地では、「手つかずの自然のすばらしさ」を教わります。



乗鞍高原でプロジェクトに参加

「人間が手を加えながら守る自然」として、「一帯を昔の牧草地に戻す」という乗鞍高原の地元プロジェクトに参加させていただきます。

視野を広げる体験学習



土曜自然教室

時間制限のある日常の授業では到底出会うことのできない、よりインパクトの強い、精選した自然の姿を求めて活動します。



給食用野菜栽培教室

学校農園で育てる季節の野菜はすべて無農薬です。苗の植え付けから収穫までを行い、それらの野菜を給食にも用いいただきます。



4~6年生 スキー合宿



4年生から6年生までの3年間、毎年北信州・白馬五竜へ3泊4日で向かいます。少人数ごとのグループに分かれ、現地インストラクターに丁寧に指導していただきます。



6年生になると、3年間の成果を結集し、快速・爽やかにゲレンデを滑走する姿も見られます。

出張授業



ダイハツ自動車

国内産業の中心となっている自動車工業の工程を学校で再現していただき、実際の部品にふれ、作業工程を体験させていただきます。



租税教室

納税協会に加盟しておられる先生をお招きし、税金について教えていただきます。また、「自分の街づくり体験」を通して、税金について考えます。

グローバル社会で活躍できる 国際人育成を目指す

創立当初より、1年生から英語を教科として学ぶ本校の英語教育。
時代のニーズに先駆けた教育を常に研究し、独自のメソッド・カリキュラムを展開。
「4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing) + 発表力の育成」を長年提唱し、
将来役立つ「英語発表力」「発音」を磨き、自信をもって国際的に活躍できる
人材の育成を目指します。



英語発表会～Tezukayama Winter Festival～ (全学年対象、毎年実施)

1年生から毎年行う英語舞台発表では、世界で活躍する国際人に必要な「英語発表・プレゼン力」のスキル習得を目指します。構成は、個別英語スピーチ、英語劇、英語プレゼンテーションで、英語司会も児童が担当します。授業内の指導に加え、プロのナレーターによる練習用音声も活用し、着実な英語力アップを図ります。



長年の英語教育研究により開発された本校独自教材で、英語による発話を促しながら4技能の習得を目指します。さらに年2回の"English Challenge"を実施し、子どもたちの対話を重視したアセスメントを行います。



少人数制授業(低学年)で1年生から「英語で英語」を学びます。個の学びを大切に、週2時間(全学年)の英語授業と英語モジュール学習を実施。経験豊富な講師陣による丁寧な発音指導、英会話や文法指導で、児童期に習得させたい英語力の定着を図ります。



オンライン型英語教材や英語圏の学校機関で使用されている定評高いデジタル絵本を導入。グローバルな視点で開発された教材により、個々の子どもに合わせた質の高いインプットを提供します。培った英語力は、毎年実施の英語発表会で披露し合い、学校全体でレベルアップを図ります。



帝塚山大学東生駒キャンパスにて、安心安全な英語ミニ留学体験を実施。世界中から集まる講師陣による異文化理解、CLILメソッドによる英語での他教科学習を実施します。4年間の継続により、実践的な英語力の確かなステップアップを図ります。



さらにレベルアップを目指す子どもに、英検®(4・5級)、TOEFL Primary®(Step1&2, Junior)を用意。準会場に指定されている本校で、2年生以上の希望者が受験します。小学生から英語の試験に慣れ、大学入試に備えます。



オーストラリアのセントモニカ小学校(姉妹校)、フィンランドの小学校(交流校)との文化交流、テレビ会議での児童間交流など、国際交流活動を長年実施。子どもたちが世界に目を向け、英語を学ぶ励みとなっています。

外部英語コンテスト

- 第23回 全国自己表現力コンクール(現代用語検定協会) 【アンデパンダンの部】入選
- 第22回 全国自己表現力コンクール 【英語の部】最優秀賞 全国1位
- 第1回 twinkle子ども英語スピーチコンテスト インターナショナルの部 優秀賞 全国1位
- 英語朗読コンテスト(教育開発出版)優秀賞(多数)

コンピュータ技術を習得し、創造、発信する力を磨く

これからの情報ネットワーク社会をリードするためには、確かな情報収集能力、情報発信能力が不可欠です。本校では、1年生から週1時間の「情報」の授業を実施し、マウス操作やタッチタイピングなど基本的なコンピュータ操作から始め、インターネット活用、プレゼンテーション資料作成、ホームページ作成等充実したカリキュラムを用意し、6年生最後の卒業研究で生かせるスキルを身につけていきます。さらに、プログラミングやロボット体験を通して、コンピュータを使った独自の作品創造に取り組み、21世紀型スキルを磨きます。



充実の設備

コンピュータ教室では、一人1台のデスクトップパソコンを使用。また、各教室にも、教材提示装置や電子黒板を配置し、一人1台のタブレット端末から全員同時にインターネットに高速アクセスできる環境が整っています。情報の授業以外の様々な場面でもICTをフルに活用し理解を深めています。

情報科の授業

本校では、専科教員による情報科の授業を1年生から実施しています。1年生ではまずパソコンでのお絵描きから始めてマウス操作に慣れていきます。国語科でのローマ字の学習に合わせて、タッチタイピングの練習も行い、6年生の卒業研究での長文入力に対応します。お話作り、パラパラ漫画、都道府県紹介など、それぞれの学年のスキルに応じた課題制作に取り組み、完成した作品を皆の前で発表するプレゼンテーションの場も設けています。また、インターネット利用のマナーやルール、情報収集の方法、SNS利用に伴う危険性など、情報モラルおよび情報リテラシーに関する指導も徹底しています。



次世代を見据えた「プログラミング教育」

プログラミングのカリキュラムを情報科年間計画の中に設定。1年生から各学年に応じたアプリケーションを使い、プログラミングの基本「順次」「反復」「分岐」の考え方を身につけていきます。低学年では、簡単なアニメーション作成から始まり、より複雑な動きへと発展させ、ゲームやストーリー性のあるアニメーションを作成しています。高学年では、簡単なゲーム作りから始まり、算数の授業と連携し、正多角形作図関数の完成を目指しています。作品を完成させる過程で試行錯誤を繰り返しながら「論理的思考力」「問題解決能力」を鍛えていきます。



各教科でのICT活用

各教室に、パソコン、タブレット端末、教材提示装置、電子黒板を配置。また、3年生以上が個人のタブレットを所有。始業前の時間帯にタイピング練習をしたり、「解いて覚える記憶アプリ『モグサ』」で、繰り返し学習による知識の定着化を図ったりしています。また、社会科や国語科での探究学習、理科の卒業研究、その他調べ学習や課題提出など、日々の学習に用いています。



ロボット教室



3年生以上の希望者を対象として、土曜日や長期休業中にロボット教室を実施。毎年国際ロボット競技会「WRO」のエキスパート部門、ミドル部門に出場しています。2022年、2023年は、エキスパート部門奈良県大会で2年連続優勝、全国大会に出場しました。

ロボット体験授業(5・6年生対象)



最新技術と充実のプログラムで全国展開しているロボット教室「ProgLab」による出張ロボット体験授業を実施。2人組で話し合い、試行錯誤を繰り返しながら、障害物を避けて目的地までロボットを到達させるプログラムを考えます。6年生になるとさらに課題を増やし、モノを運んだり置き換えたりという動作にも挑戦します。

教え合い、支え合い、ともに学ぶ異年齢交流

学級・学年・学校の枠を超え交流し合えることは、帝塚山学園ならではのすばらしさです。異学年交流では高学年がお手本となり行事をリード、また総合学園だからこそ大学生などとのふれあいも大切に、学校間交流を盛んに行っています。お互いを理解し、いたわり、慈しみ、感謝し、尊敬することで、自己肯定感と責任感が育まれます。



異学年交流



1年生歓迎遠足

1年生歓迎のため、春の遠足を実施。全校そろって奈良公園へ出かけます。学校児童委員が中心となって集いを企画し、他学年との交流の場を作ります。



全校縦割り清掃

上級生が下級生の手本となって、縦割りグループで清掃を行います。手順や方法を教えるのは、もちろん上級生の役割です。



運動会四種競技

1～6年生がチームになり、4つの競技に参加します。6年生が中心となり、作戦を練ったり練習を重ねたりする中で、チームの結束力を高めます。



1年生枕づくり

全学年、午後の授業前の15分間は「おひるねタイム」を設けています。入学した1年生の枕づくりは、6年生がサポートします。

学校間交流



大学との連携事業

帝塚山大学食物栄養学科による食育授業、日本文化学科による昔のくらし授業など、多彩な内容で連携授業を実施しています。



中学体験授業

科学実験やバイオリン実習、コンピュータ研修など、帝塚山中学校の授業を体験し、中学生活に期待を膨らませます。



幼小交流会

帝塚山幼稚園の年長児と1年生が交流するイベントです。1年生が中心となり、読み聞かせやゲームを行います。



大学のインターンシップ

小学校教員になるために学んでいる帝塚山大学教育学部こども教育学科の学生が、子どもたちの学習や生活をサポートします。



TEZ' fes

小学校を会場に、クッキングカーやゲームコーナーが設置されます。また、5年生が八百屋さんとなって、学校農園で収穫した野菜を販売したり、4年生がアンバサダーとなってゲームを盛り上げたりします。児童も園児も楽しみにしているイベントです。

可能性を広げ、チャレンジ精神を育む

1～3年生は低学年クラブ、4～6年生は課外活動を、学級・学年の枠を離れて実施しています。低学年クラブは、遊びの要素をふんだんに盛り込んだ体験活動を行い、課外活動ではより質の高い内容を目指します。校外のコンクールや対外試合などにも積極的に参加します。



課外活動



吹奏楽部

金管・木管・打楽器。それぞれの音がとけあって初めて美しいハーモニーが奏でられます。吹奏楽を通して、仲間との協調を学びます。



コーラス部

歌うことが楽しいという気持ちを第一に尊重し、仲間と声を合わせる喜びを共感しあえる関係を築きます。



国際交流部

外国の学校との交流を通じて、相互の理解を深めるとともに、英語の表現力を高め、各種コンクールに参加します。



サッカー部

チームでの活動を通して、互いに認め合い、仲間を信頼する心を育てます。また、他チームとの親睦を深め、相手を尊重する姿勢も育みます。



ミニバスケットボール部

「友情・ほほえみ・フェアプレー」の基本精神を大切に、礼儀正しく、厳しい気持ちで練習に取り組み、対外試合に臨んでいます。

低学年クラブ

1～3年生が、「お料理」「昔の遊び」「モノづくり」など10領域のクラブに分かれ活動します。



TEZUKAYAMA ELEMENTARY SCHOOL
CALENDAR



5月 1年生歓迎遠足



5月 水泳指導開始



4月

- 入学式
- 新入生対面式
- 健康診断、各種検診
- 参観日
- 保護者会

5月

- 1年生歓迎遠足
- 交通安全指導
- スポーツテスト
- 水泳指導開始

6月

- 林間学舎(6年生)
- 田植え(5年生)
- 保護者会



6月 田植え(5年生)

7月

- 個人面接
- 学年合宿(1、3、5年生)



8月

- 学年合宿(2年生)
- 夏季水泳練習(1~3年生)
- 水泳記録会



10月 運動会

9月

- 学年合宿(4年生)
- 保護者会
- 英語国内留学(3~6年生)



9月 英語国内留学(3~6年生)



10月 大和文華館鑑賞(4~6年生)



11月 音楽祭



1~2月 スキー合宿(4~6年生)

11月

- 保護者会
- 音楽祭
- TEZ' fes
- 学園合同防災訓練

10月

- 運動会
- 稲刈り(5年生)
- 新入生保護者会
- 大和文華館鑑賞(4~6年生)



10月 稲刈り(5年生)

12月

- 英語発表会
- 個人面接



2月 学習発表会



2月 美術作品展

3月

- 卒業生を送る会
- 卒業式
- 新入生家庭訪問
- プレスクール

1月

- スキー合宿(4、5年生)
- 漢字能力検定

2月

- 学習発表会
- スキー合宿(6年生)
- 保護者会
- 美術作品展



3月 卒業式

帝塚山っ子の1日



玄関あいさつ

毎朝校長が校舎前に立ち、児童一人一人とあいさつを交わします。



8:10

授業開始までは、読書タイム、朝の会、毎日のモジュールに取り組みます。



12:10

- 昼食、昼休み
- 全校清掃
- お昼寝



13:35

- 午後の授業



15:30

- 下校
- 【任意参加】
- 受験指導
- 課外活動



16:50

- 完全下校

児童放課後預かり制度

学園前
アフタースクール

帝塚山小学校限定のアフタースクールです。『豊かな感性と教養を身につける第二の家』として「安心・安全」を第一に運営されています。

基礎学力個別指導

「学童保育の温かさ」と「学習塾のノウハウ」を生かし、学校の授業内容や宿題・課題(日記など)をフォローします。また、自主的な学習姿勢が身につくようにサポートします。



専門講師による充実したプログラム

専門講師による曜日ごとの充実したプログラム【国語・算数・パズル・英語・ロボット・科学実験・囲碁・ダンス・体操・サッカー・ミニバスケットボール等】が用意されています。



月曜日～金曜日18:30まで(延長19:30)

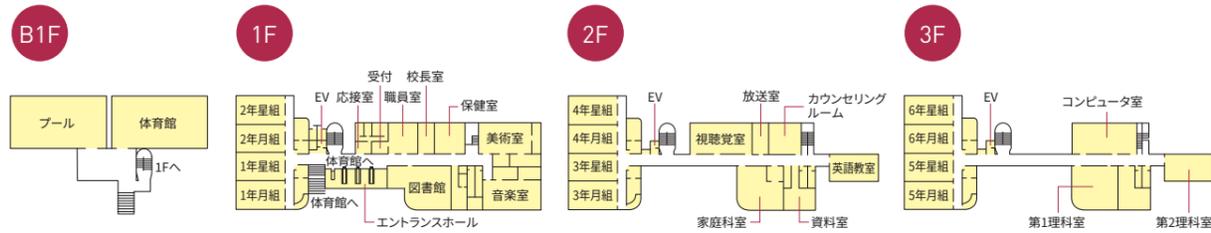
開校時間は、帝塚山小学校の下校時刻・学校行事に完全連動しています。

土曜日、長期休業中も対応

土曜日は保護者対象の講演会、イベントなどを不定期で開催しています。また、テスト前などは、高学年を対象とした「勉強会」を実施しています。長期休暇(春・夏・冬休み)中は、内容豊かに朝から夕方まで活動しています。

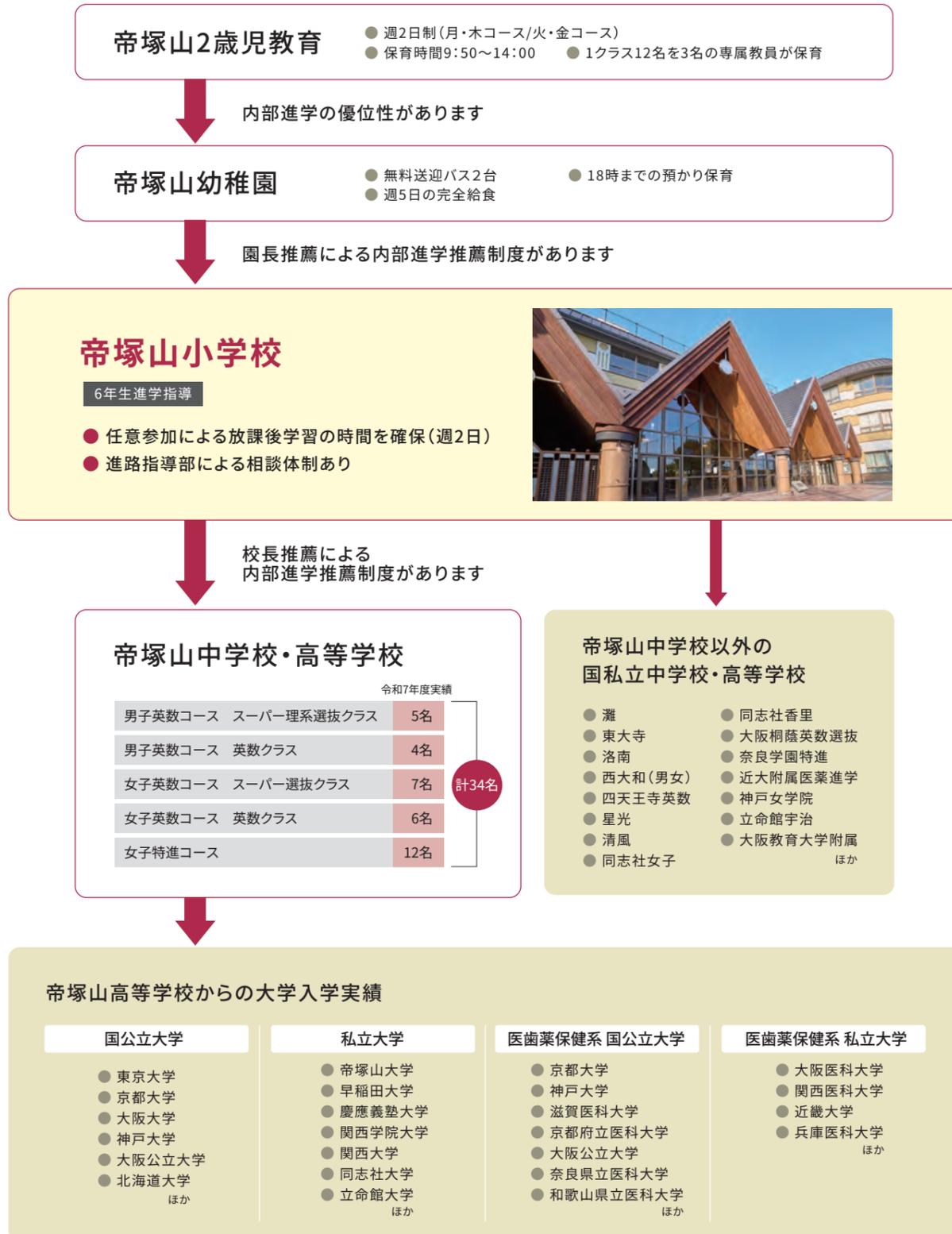
木の温もりを感じる校舎で学ぶ

帝塚山小学校は、木の温もりを感じる校舎と、古都奈良の自然と文化に囲まれた閑静な環境の中にあります。



手厚い進学指導で希望する進路を実現

帝塚山中学校・高等学校への内部進学推薦制度があります。
また、外部進学希望者のための進路指導も行っています。



登下校の見守り・防災対策

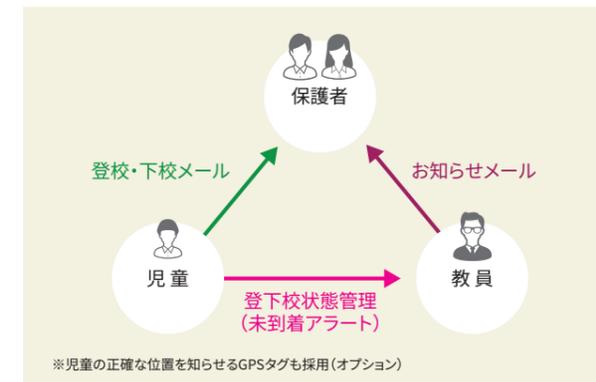
警備員、監視カメラで防犯体制も厳重です

学園前キャンパスの正門、通用門には警備員を配置。子どもたちを見守り、また不審者が侵入しないよう入構をチェックしています。



児童と学校、保護者をつなぐ安心・安全の通学連絡システム

登下校の際、校門・校舎前を通過すると、専用ICタグにより保護者に毎日通過時刻メールが届きます。保護者・教員間の連絡もメールで迅速かつ確実です。また、保護者へのアンケート機能を活用して、災害時などでも学校の状況を発信したり、自宅での安否状況を確認したりすることが可能です。



全児童3日分の非常食を備蓄

災害時の学校待機に備え、水、非常食を備蓄。水なしの常温で、だれでもすぐに食べられる「石井食品」のアレルギー完全対応食を採用しています。



万が一の災害に備え、1か月に一度防災訓練を実施

月1回の防災訓練を予告なしで行うなど、どこにいても安全に身を守る習慣を身につけます。並行して、Jアラート対応訓練も行っています。



全国初!災害警告灯を設置

緊急地震速報を受信するとライトが点滅し、音だけでなく視覚で避難を促す「エマージェンシーサイン」。独自の受信システムで、Jアラートにも対応します。



報告システム

学校やSNSで友だちとのトラブルに悩む子どもの声をいち早く学校が把握し、早期解決を図るためのシステムです。小学校では全国初の取り組みです。



給食・弁当選択制度

アレルギーを考慮し、弁当も選択できます

事前に給食献立表を配布し、アレルギーのある児童は、除去食材を保護者と担任双方で確認。希望者は弁当を持参できるのも本校の特徴です。



人に、自然の恵みに、感謝。食育にも力を入れています

広大な学校農園では、多彩な農作物を自分たちで育てて収穫。給食では、本大学食物栄養学科によるレシピ活用、児童の収穫野菜の食材化が実施されています。

心のケア

専属のカウンセラーが定期的にカウンセリング

子どもたちの様々な問題について、小学校専属の臨床心理士がカウンセリングを実施。週一回小学校に駐在し、児童の生活・学習の観察をしたり、児童・保護者・教員に対するカウンセリングを実施したりしています。



帝塚山大学「心のケアセンター」を利用することができます